

# アラビア半島 オマーンの旅

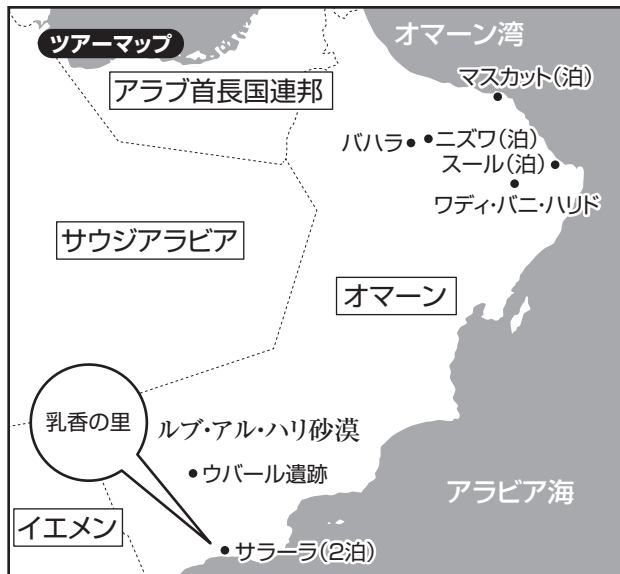


2019年 **ご旅行期間とご旅行代金**  
**2月18日(月)発~2月26日(火)着... ¥398,000**  
 一人部屋利用追加料金 **¥59,000**

古都ニズワ(イメージ)

## ツアーのポイント

- ◆アラビア半島最大の**ルブ・アル・ハリ砂漠**を四輪駆動車で縦断し、古代都市遺跡の**ウバル**遺跡を訪ねます。
- ◆シバの女王の時代からその名を轟かせた**乳香の土地**へご案内します。
- ◆オマーンで最も美しいと称される**オアシスのワディ・バニ・ハリド**へご案内します。



## 失われた都市『ウバル』

「砂漠のアトランティス」と呼ばれた**古代都市・ウバル**は、西暦150年にローマの地理学者だったクラウディオス・プトレマイオスによって書かれた地図にも地名が記されています。

ウバルはシバの女王が活躍した時代には、エジプトやアラビア半島とインドとの貿易の要所でした。当時は乳香は金と同等の価値を持っていました。特にウバル近郊で採れる乳香は大変質が良く、近隣諸国にそれを輸出し栄えたと言われていました。

ウバルは近年まで**伝説の都市**とされてきましたが、1932年イギリス人探検家が砂漠に人工的に作られた道路を発見しました。その後、1990年にNASAのスペースシャトルが撮影した衛星写真を解析した所、イギリス人探検家が見つけたのとは別の、砂の下に埋もれた道が発見します。その2本の道が交錯する場所をウバルと予測し、地理学者プトレマイオスによって書かれた地図と照らし合わせ、位置を特定することができました。

翌年、米英合同の発掘隊による発掘作業が開始され、ついに**千夜一夜物語(アラビアンナイト)**に、金銀の彫刻、宝石類による装飾に彩られた豊かな都市として登場するウバルが、砂の下12mから姿を現しました。紀元前5000年頃の土器、古代ローマ時代の城壁、石柱等が発掘され、**ウバル遺跡**の名は世界中に知られることとなりました。

## 世界遺産 灌漑用水路『ファラジ』

いくつものオアシスが点在するオマーン国内には、国土の8割が乾燥した砂漠であるにもかかわらず、現在およそ3000箇所の地下水脈を利用した**灌漑用水路**があると言われており、そのうち最も古いとされる**5箇所**が**世界遺産**に登録されました。給水システムは地下水脈からわずかな高低差を利用して水を数キロ先のナツメヤシ畑や住宅へと水を送り込むことが目的であり、オマーンにおいては、紀元前からすでに灌漑システムが確立していたとされています。

## 古の香り~乳香の地(世界遺産)

星の知らせでユダヤの王となる子が生まれることを知った**東方の三博士**は、幼子イエスの前にひれ伏し、宝箱から黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた——新約聖書に登場するこの有名なお話からは、かつて乳香がいかに重要で高貴だったかを窺い知ることができます。古代エジプトをはじめとして、古くから金と同等の、時としてそれ以上の価値があったとされる乳香は、アラビア半島南部やアフリカの一部のみ生息するカンラン科の植物で、木から滲出する芳香性の樹脂が固まったものです。燃やすと甘く、優雅な香りがすることから宗教的な儀式を中心に使用され、古代社会において、大変な価値がありました。

オマーン南部のかつての交易路には、古くから**乳香の木**が群生している場所があり、現在は**世界遺産**に指定されています。**シバの女王**もここで採れる乳香を他国に輸出することで大いに潤い、アラビア半島で最も大きな王国を築いたといわれています。



乳香の木(イメージ)

## ご旅行条件

- 募集人員/18名様限定
- 最少催行人員/10名様
- 全食事付/朝食6回・昼食7回・夕食6回
- 羽田空港使用料/¥3,170(別途必要)
- オマーン査証料・同取得手数料/¥7,560
- 旅券残存期間/6ヵ月以上
- 査証欄/見開き2ページの空欄が必要
- 国際観光旅客税[出国税]/¥1,000(別途必要)
- 旅行代金には、**海外の空港税、出国税、航空保安税が含まれております。**
- 弊社では**燃油サーチャージ**を別途徴収いたしません。
- 千歳空港より、全行程、社員添乗員同行
- トランク往復無料託送サービス[ご自宅~空港~ご自宅]
- ※ビジネスクラス利用追加料金はお問合せください。
- ※大阪・名古屋・福岡発着・同一料金
- ※東京発着:¥10,000引き

## ご利用予定ホテル

- サララ/ヒルトン、ジュメイラ・プティック、クラウンプラザ
- ニズワ/ゴールデン・チューリップ
- スール/スール・プラザ・ホテル、リゾート・スール・ビーチ・ホリデー
- マスカット/ホリデー・イン、ノボテル、ゴールデン・チューリップ、マスカット・ホリデー
- ※上記ホテル又は同等クラスとなります。

日次	都市名	スケジュールと見どころ/お食事と宿泊地
1	千歳 羽田	<b>スーツケース無料託送サービス ご自宅~空港</b> ■夕刻、千歳空港より、国内線にて、羽田空港へ。 ■夜、羽田より、カタール航空にて、ドーハへ[23:50発]。[機中泊] [☒][☒][☒]
2	ドーハ マスカット  サララ	■早朝、ドーハ到着後、カタール航空を乗継ぎ、オマーンの首都・マスカットへ[10:00着]。 ■午後、航空機にて、オマーン第二の都市でドファール地方のサララへ[17:15着]。 ■着後、専用バスにて、ホテルへ。 <b>乳香の地サララに連泊</b> です。 [サララ泊] [☒][☒][☒]
3	サララ (ウバル遺跡)  (スムフラム遺跡) (アル・バリド)	■午前、衛星写真によって発見された砂に埋もれた古代都市、 <b>ウバル</b> 遺跡を見学します。ウバル遺跡へは、四輪駆動車に分乗し、オマーン、イエメン、サウジアラビアに跨る巨大な <b>ルブ・アル・ハリ砂漠</b> を縦断して訪れます。ゲームドライブもお楽しみいただけます。 ■午後、サララ郊外の観光。乳香の積出基地として栄えたシバの女王の城塞跡などが残る <b>世界遺産 乳香の地</b> の <b>スムハラム遺跡</b> と <b>アル・バリド遺跡</b> を見学します。 ■また、 <b>乳香の木</b> や、 <b>乳香博物館</b> もご案内いたします。[サララ泊] [☒][☒][☒]
4	サララ マスカット ニズワ (バハラの砦)	■午前、航空機にて、マスカットへ[10:05発]。 ■着後、専用バスにて、古き良きオマーンが残るニズワへ。 <b>古都ニズワ</b> と、ヤシの茂るオアシスの <b>世界遺産 バハラ城塞</b> 、さらに装飾の美しい <b>ジヤプリン城</b> を観光します。また、 <b>世界遺産</b> の <b>灌漑用水路 ファラジ</b> を見学します。 [ニズワ泊] [☒][☒][☒]
5	ニズワ ワディ・バニ・ハリド  スール	■午前、専用バスにて、ハジャール山脈の奥深く、ナツメヤシとエメラルドグリーンのおアシスが美しい <b>ワディ・バニ・ハリド</b> へご案内します。 ■午後、専用バスにて、古くから貿易港として栄えたスールへ。 [スール泊] [☒][☒][☒]
6	スール マスカット	■午前、 <b>港町スールの観光</b> 。新鮮な海産物が並ぶ魚市場や、スール湾の <b>ダウ船クルーズ</b> などへご案内いたします。 ■午後、専用バスにて、マスカットへ。途中、 <b>港町クイヤット</b> の要塞に立ち寄りします。 [マスカット泊] [☒][☒][☒]
7	マスカット ドーハ	■出発まで <b>マスカット市内観光</b> 。アラム宮殿、グランドモスク、国立歴史博物館、マスカット最古の市場 <b>マトラ・スーク</b> などへご案内いたします。 ■夜、カタール航空にて、ドーハへ[23:25発]。 深夜、ドーハにて、カタール航空を乗継ぎ、帰国の途へ。 [機中泊] [☒][☒][☒]
8	成田	■夕刻、成田空港到着[18:40着]。 ■入国審査・税関検査ののち、シャトルバスにて、近郊ホテルへ。 [成田近郊泊] [☒][☒][☒]
9	成田 千歳	■午前、成田より、国内線にて、千歳へ。 ■午後、千歳空港到着後、解散。 <b>スーツケース無料託送サービス 空港~ご自宅</b> [☒][☒][☒]

※表記の時間は、すべて現地時間で表示されております。  
 ※現地の都合によりスケジュールが変更される場合がございます。その場合でも極力日程に従って旅行サービスが受けられるよう万全の手配努力を致します。  
 ※表記の「☒」はそれぞれ「朝食・昼食・夕食・機内食」を示します。☒印の食事は含まれておりません。  
 ※利用予定航空会社:カタール航空、エティハド航空、エミレーツ航空、利用航空会社により経由地が異なります。